

エコアクション21 環境活動レポート

2017年度

—2017年4月～2018年3月—



株式会社 深野木組

2018年4月27日

I 組織の概要

1. 事業所名及び代表者名

株式会社 深野木組
代表取締役 深野木 信

2. 所在地

深野木組本社：〒890-0054 鹿児島県鹿児島市荒田 2 丁目 28-19
モデルハウス：〒890-0082 鹿児島県鹿児島市紫原 7 丁目 2-5
資材置場： 上記同

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者：早崎洋一、環境事務局：上村由加理
連絡先：TEL 099-251-1611 FAX 099-252-6524
E-mail info@fukanoki.co.jp ホームページ www.fukanoki.co.jp

4. 事業内容

建築の設計・施工

5. 会社設立 昭和32年10月

6. 事業規模

資本金 20百万円
従業員 7名
売上高 430百万円（2017年度：4月～翌年3月）

7. 事業許可の内容

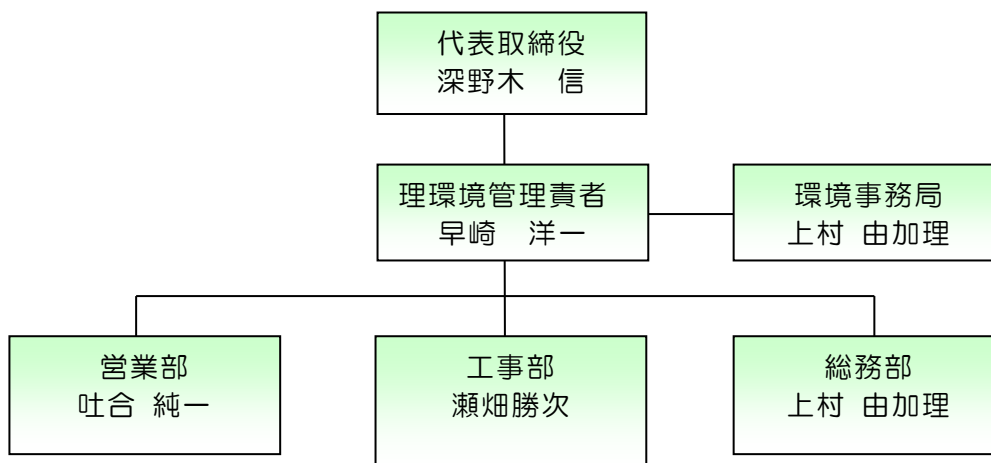
○特定建設業

鹿児島県知事許可（特29）第 955号 許可期間：H29.8.7～H34.8.6
建設業の種類：建築事業 大工工事業 左官工事業 とび・土工工事業 石工事業
屋根工事業 タル・れんが・ブロック工事業 鋼構造物工事業 鉄筋工事業
板金工事業 ガラス工事業 塗装工事業 防水工事業 内装仕上工事業
熱絶縁工事業 建具工事業

8. レポートの対象期間及び発行日

対象期間：2017年4月1日～2018年3月31日
発行日：2018年4月27日

9. エコアクション21実施体制



I 環境方針

ごあいさつ

当社は鹿児島市を拠点に、木造・鉄骨造・鉄筋コンクリート造等の住宅・ビルの設計・施工をしている会社です。

建築を通じ、「夢」実現の手伝いをする会社として、お客様とのコミュニケーションを大切にしています。

また、「人と地球への思いやり」を基本方針にバリアフリー、エコロジー、省エネルギー住宅（建築）の研究を行い、快適で健康的な居住環境と地球環境との共生を考慮した地域型住宅の実現に努めています。

基本理念

当社は、建設業に関する業務において、太陽熱・風・光を取り入れた建物を設計・施工を通じ、自然と地域社会との共生に貢献し、地球環境と共存する建物の普及と環境問題に多くの方が関心を持って頂けるように、広報活動に努めます。

株式会社 深野木組

環境方針

私たちは、地球資源が有限であることを認識し、社員一同が建築工事の活動において、太陽光・熱を利用した室内環境の改善に取り組むとともに、地球環境への負荷を最小限にすることを目指し、継続的に取り組みを推進します。

1. 下記について環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的改善に努めます。
 - ① 電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
 - ② 廃棄物の削減・リサイクルの推進
 - ③ 水資源の節約
 - ④ 省エネ住宅（OM工法）の普及
 - ⑤ グリーン購入の推進
 - ⑥ 道路・公園清掃による地域への貢献
2. 環境関連の法令・条例及びその他の要求事項を遵守し、環境保全に取り組めます。
3. 環境方針は、全従業員に周知すると共に社外に公表します。

制定日：2009年1月7日

改定日：2012年4月1日

鹿児島市荒田2丁目28-19

株式会社 深野木組

代表取締役社長 深野木 信

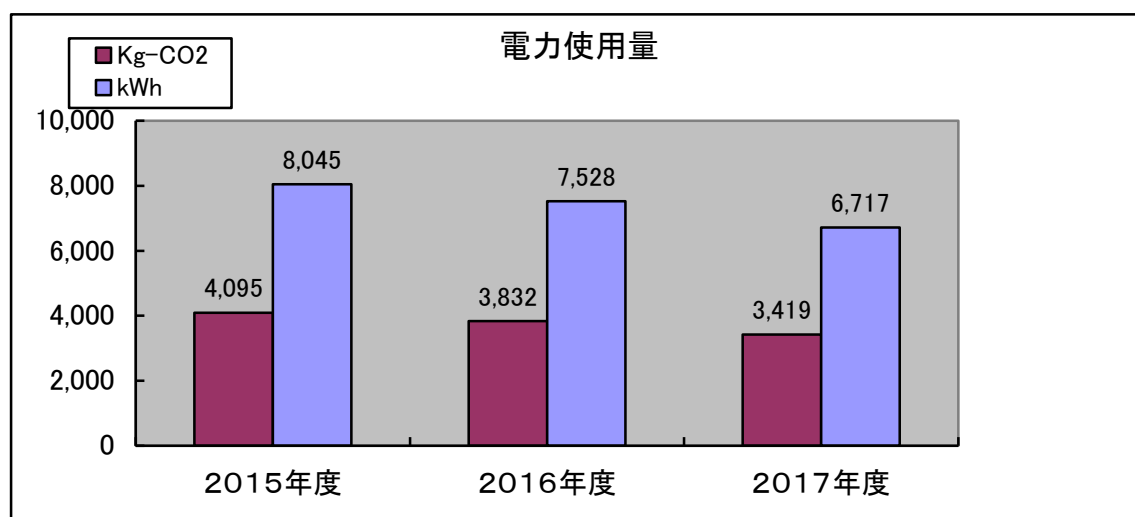
Ⅲ 環境目標

1. 過去3年間の環境負荷実績

項目	区分	単位	2015年度	2016年度	2017年度
電力使用量 ※ (動力・照明)	本社	Kg-CO ₂	4,095	3,832	3,419
		kWh	8,045	7,528	6,717
燃料使用量 (軽油・ガソリン)	全社	kg-CO ₂	13,237	13,043	12,184
		ℓ	5,702	5,618	5,248
一般廃棄物排出量 (事務所)	本社	kg	41	32	35
産業廃棄物の再資源化向上 (再資源化率)	現場	%	71	35	43
水道水使用量	本社 行ルハス	m ³	47	59	27

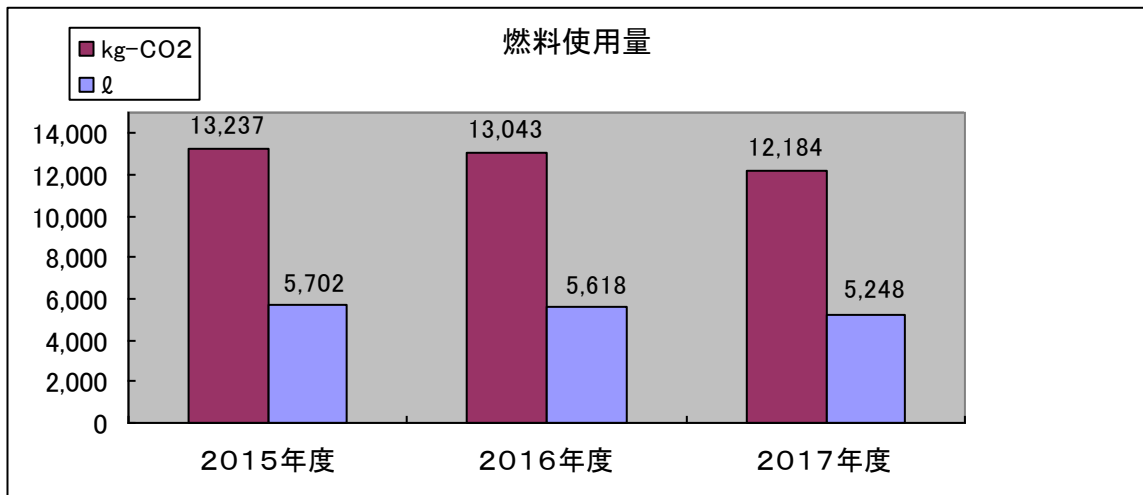
電力の二酸化炭素排出係数=九州電力平成27年度 0.509kg-CO₂/kWh を使用。

過去3年間の環境負荷実績の比較・取組の状況

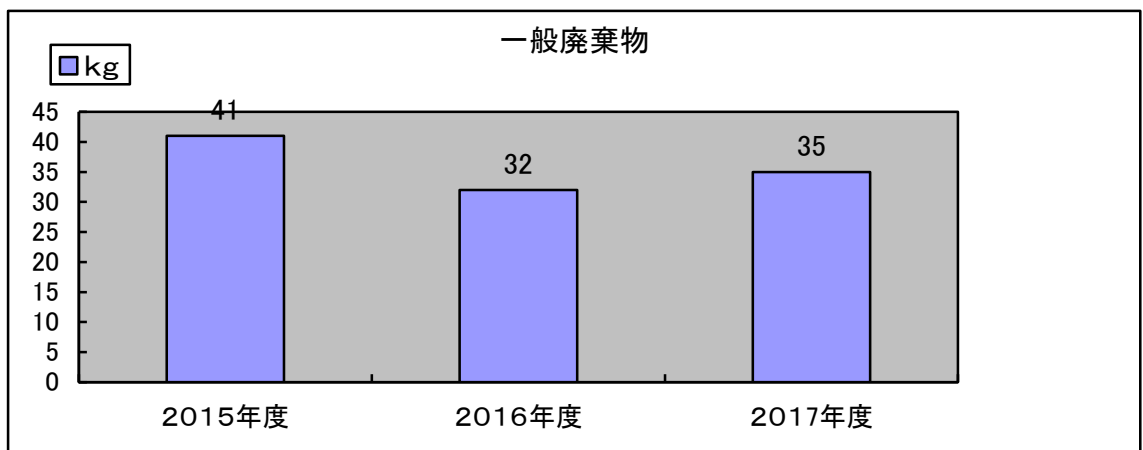


↓ 節電への取組意識を向上させるための掲示物





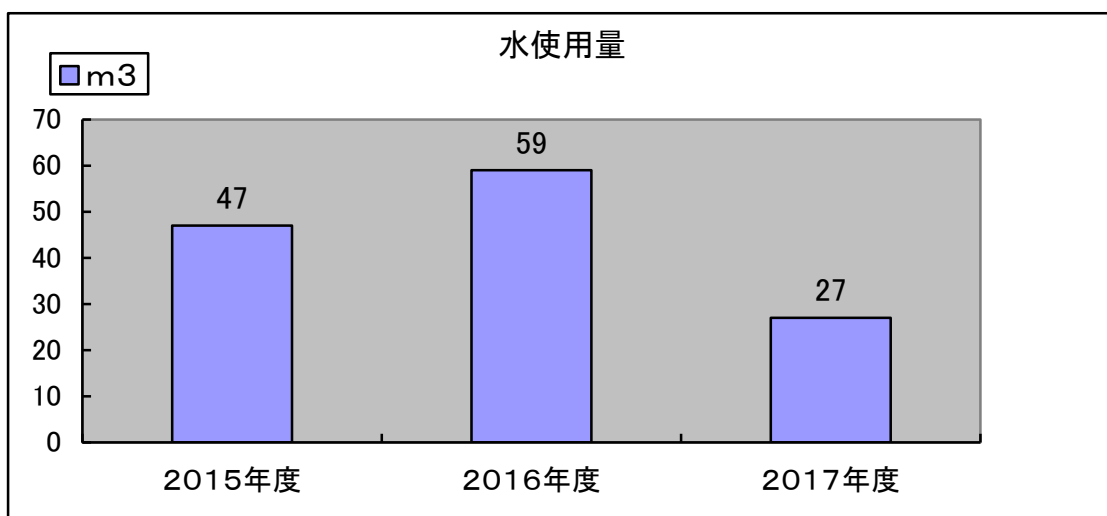
↓ 運転前に意識し直す様に、事務所を出たところに掲示



↓ 紙使用量削減の意識向上 ↓ コピー用紙の裏紙利用



↓ペットボトルの蓋・缶の蓋の回収



↓節水の取組意識を向上させるための掲示物



2. 2017年度及び2018・2019年度環境目標

項目	仕分	単位	過去3年 平均基準値	2017年度 目標値	2018年度 目標値	2019年度 目標値
			2014.4 ~2017.3	2017.4 ~2018.3	2018.4 ~2019.3	2019.4 ~2020.3
電力使用量の削減 (動力・照明)	本社	Kg-CO ₂	3,876	3,837 -1%	3,798 -2%	3,760 -3%
		kWh	7,616	7,540 -1%	7,464 -2%	7,388 -3%
燃料使用量の削減 (軽油・ガリ)	全社	Kg-CO ₂	13,056	12,925 -1%	12,795 -2%	12,664 -3%
		ℓ	5,624	5,568 -1%	5,512 -2%	5,455 -3%
一般廃棄物の削減 (事務所)	本社	kg	39.5	39.1 -1%	38.7 -2%	38.3 -3%
産業廃棄物の 再資源化向上 (現場工事)	現場	%	60	33	34	35
水使用量の削減	本社	m ³	54	53.5 -1%	52.9 -2%	52.3 -3%
省エネ住宅 (OM工法)の普及	全社	件	3	5	5	5
グリーン購入	全社	%	71	72	73	74
地域への貢献	全社	回	9	9 維持	9 維持	9 維持

※電力の二酸化炭素排出係数=九州電力平成27年度 0.509 kg-CO₂/kWh を使用。



太陽の恵みを生かす
OMソーラーシステム
が組み込まれた、紫原
モデルハウス
『風雅匠房』

宿泊体験で住み心地を
体験出来ます！

*モデルハウス所在地
紫原7丁目2-5

Ⅳ 2017年度環境活動計画

項目		2017年度 環境目標 (過去3年平均比)	改善活動計画・内容	
CO ₂ 削減	電力使用量の削減※	CO ₂ の 1%削減	本社	<ul style="list-style-type: none"> ② 未使用部屋の照明の消灯確認。 ② 使用しないパソコンは、電源を切る ③ 節電標示シールを張り外出時はこまめに消灯する。 ③ 節電表示シールを張り外出時はこまめに消灯する。 ④ エアコンの設定温度の遵守。(夏季 28℃ 冬季 20℃)
	燃料使用量の削減	CO ₂ の 1%削減	現場	<ul style="list-style-type: none"> ① 下請業者・職人への節電指導、呼び掛け。 ② 未使用機器の電源OFFの徹底。
廃棄物の削減	一般廃棄物の削減	廃棄物排出量 1% 削減	<ul style="list-style-type: none"> ① エンジンの空吹きをししない。 ② 車間距離を守り、急発進、急加速、急停車をししない。 ③ 定期的に車両の点検、整備を実施する。(特にタイヤの空気圧) ④ 過積載をししない。 ⑤ 運転席を離れるとき・積込作業時は、エンジンを停止する。 以上①～⑤の項目を車両の運転席から見える場所に標示する。	
	産廃の資源化	産業廃棄物 再資源化率 33%	<ul style="list-style-type: none"> ① 両面プリント、使用済み用紙の裏面使用の徹底 ② 社内ペーパーレス化の推進(LANの活用) ③ 印刷前のパソコン画面内の再確認 ④ ミスコピーの回収 ⑤ 空缶・ペットボトルの回収、リサイクル化 	
水資源の節約	水使用量の削減	使用量 1%削減	本社	<ul style="list-style-type: none"> ① 水使用箇所に節水の標示をする。 ② 洗うときのみ水を蛇口から出す。(水量調整) ③ 水の垂れ流しをししない。バケツ等を利用し水の溜め洗い。 ④ ホース先にウォーターガン取付、水道水の垂れ流しをししない。
			現場	<ul style="list-style-type: none"> ① 砂等、掃き掃除をしてから水洗いをする。 ② ホース先にウォーターガンの取付。 ③ 使用後は蛇口を直ぐ閉め、水道水の垂れ流しをししない。
省エネ住宅(OM工法)の普及 5件			<ul style="list-style-type: none"> ① 太陽光熱活用の建物の普及・広報により、化石燃料使用機器の利用の削減に努め、さらに環境問題に関心をもって頂くよう見学会・宿泊体験を通し、自然環境の良さに目を向けてもらう。 	
グリーン購入 72%			購入時はグリーンマークが付いているか確認をする。	
地域への貢献 9回			<ul style="list-style-type: none"> ① 廃棄ゴミの収集による美化活動 ② 会社周辺の清掃による美化活動 ② 6・9・12・3月第2週目(木曜日)14時～美化運動 	

V 2017年度環境目標の実績

2017年度（2017年4月～2018年3月）実績は下記の通りです。

項目	単位	過去3年平均	2017年度		
		基準値	目標値	実績値	評価
		2014.4～ 2017.3	2017.4～ 2018.3		○ 達成 × 未達
電力使用量の削減 (動力・照明)	kg-CO ₂ kWh	3,876 7,616	3,837 7,540 -1%	3,419 6,717 -11.8%	○
燃料使用量の削減 (軽油・ガソリン)	kg-CO ₂ ℓ	13,056 5,624	12,925 5,568 -1%	12,184 5,248 -6.7%	○
一般廃棄物排出量の 削減(事務所)	kg/年	39.5	39.1 -1%	35.5 -10.1%	○
産業廃棄物の資源化 向上(工事現場)	%/年 資源化量/ 排出量 t	60	33	43 38.8/91.1	○
水使用量の削減	m ³ /年	54	53.5 -1%	27 -50%	○
省エネ住宅(OM工法) の普及	件	3	5	6	○
グリーン購入	%	71	72	72	○
地域社会への貢献 事務所周辺清掃 3ヶ月毎実施	回	9	9	8	×

※電力の二酸化炭素排出係数=九州電力平成27年度 0.509 kg-CO₂/kWh を使用。



紫原モデルハウス『風雅匠房』の
管理人、ふくろうのフーちゃんで
す。よろしく！（自分では、人気
者と思っています）
木の事、家のこと、自然素材のこ
と何でも話し相手になりますよ。

ま～お茶でん一杯どうぞ

VI 環境活動計画の取組み結果とその評価、次年度の取組み内容

実施項目は、自己評価によるものです。

項目	改善活動計画・内容		評価	
CO ₂ 削減	電力使用量の削減	本社	①未使用部屋・外出時の照明の消灯確認	○
			② 使用しないパソコンは、電源を切る	△
		現場	③ 節電表示シールを張り外出時はこまめに消灯する	○
			④エアコンの設定温度の遵守 (夏季 28℃冬季 20℃)	△
	燃料使用量の削減	現場	① 下請業者・職人への節電指導、呼び掛け	○
			② 未使用機器の電源OFFの徹底	△
			① エンジンの空吹かしをしない	○
			② 車間距離を守り、急発進、急加速、急停車をしない	○
			③ 定期的に車両の点検、整備を実施する (タイヤの空気圧)	○
			④ 過積載をしない	○
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減	① 両面プリント、使用済み用紙の裏面使用の徹底	○	
		② 社内ペーパーレス化の推進 (LAN の活用)	○	
		③ 印刷前のパソコン画面内の再確認	△	
		④ ミスコピーの回収	○	
		⑤ 空缶・ペットボトルの回収、リサイクル化	○	
	資源化の	① 床養生シートの再利用	△	
		② 紙類・ダンボールのリサイクル化の推進	△	
		③ 置場でのストッカーによる産廃管理並びに、分別回収の徹底	○	
節水	本社	① 水使用箇所に節水の標示をする	○	
		② 洗うときのみ水を蛇口から出す (水量調整)	○	
		③ 水の垂れ流しをしない バケツ等を利用し水の溜め洗いをする	○	
		④ ホースの先にウォーターガンを取付、水道水の垂れ流しをしない	○	
	現場	① 砂等、掃き掃除をしてから水洗いをする	△	
		② ホース先にウォーターガンの取付	○	
		③ 使用後は蛇口を直ぐ閉め、水道水の垂れ流しをしない	○	
省エネ住宅 (OM工法) の普及	① 太陽光熱活用の建物の普及・広報により、化石燃料使用機器の利用の削減に努め、さらに環境問題に関心をもって頂くよう見学会・宿泊体験を通し、自然環境の良さに目を向けてもらう。		○	
グリーン購入	① 購入前のグリーンマークの確認		○	
地域社会への貢献	① 廃棄ゴミの収集・会社周辺の清掃による美化活動 ② 6・9・12・3月第2週目 (木曜日) 14 時美化運動開始		○	

評価○：実施 △：ほぼ実施 ×：未実施

VII 環境関連法規制等の順守状況、法違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規は次の通りです。

法規名	該当する項目
廃棄物処理法	産業廃棄物排出事業者として、契約書の内容の確認（委託金額産業廃棄物の種類）・許可書（収集運搬及び処分業者の確認）の確認及びマニフェストの保管と鹿児島市への報告書提出。
騒音規制法	建築工事で発生する、騒音について必要な規制及び自動車騒音についての許容制度について
振動規制法	建築工事で発生する、相当範囲にわたる振動についての必要な規制、及び道路交通振動に関係する要請の処置。
自動車リサイクル法	購入時のリサイクル料金支払い
家電リサイクル法	エアコン、冷蔵庫、テレビ等のリサイクル適正委託（料金・伝票）
建設リサイクル法	建築物の解体工事に発生する廃棄物の分別・再資源化の義務付
資源有効利用促進法	廃棄物の発生の抑制及び環境の保全に資するため、再生資源の利用による資源の有効な利用の促進。
労働安全衛生法	職場の労働者の安全と健康の確保と、快適職場環境の形成と促進
建築基準法	国民の健康・生命・財産の保護に伴い、建築物の構造・設備・敷地・用途に關しての最低限の基準
鹿児島市環境保全条例	活動実績・年間実績の報告
鹿児島県地球温暖化対策推進条例	E A 2 1 導入、CO ₂ （電気、燃料）・廃棄物削減
フロン排出抑制法	機器の点検や冷媒の漏洩量の報告義務

環境関連法規制等の順守状況を 2018 年 3 月に定期評価した結果、環境法規制等の逸脱は、ありません。

また、過去 4 年間、法的違反や訴訟、苦情もありません。（2018 年 4 月末現在）

VIII 代表者による全体の評価と見直し

地域社会への貢献が目標達成には至らなかったが、その他の項目で目標を達成出来ました。が、産業廃棄物の資源化率では年間累計では目標を達成できたものの、大型工事の重複に伴う産業廃棄物の増加、分別に必要なスペースを確保できなく十分な分別ができなかったりし、月単位では 1 回しか目標を達成することが出来なく。課題の残る内容でした。大型工事受注に伴う廃棄物の増加や、工事場所の狭いところでのスペースの確保などは、これからも出てくる問題です。解決方法を全員で模索して行く必要があります。

省エネ住宅普及では、新しくハグハウスを 1 棟完成させ見学会を開催しました。他にも新しいアピール方法も検討中で、多くの方の目に触れられる様なものになる様に進めています。

今期での課題を周知し、来期も社員一団となって、エコ活動に取り組んで行きます。

以上



毎月、第1土曜日に会社周辺の美化活動を実施しています。

仕事の関係等、人数の変動や実施出来ない月もあつたりしますが、少しでも地域の方のお役に立てる様と活動しています。

毎年「建築の日」に行われる、建築協会主催のボランティア清掃に参加しています。

県建築協会鹿児島支部

地域貢献活動

①県建築協会鹿児島支部（中村明人支部長）
 ②9月30日 3時間程度
 ③鹿児島市内4カ所の公園（小野運動公園、城山公園、石橋記念公園および城之洲公園、慈眼寺公園）
 ④71社、264人

①「建築の日」の一環で行われた作業は、5班に分かれて、たばこの吸い殻や落ち葉等のごみを収集し、施設の環境美化に貢献

①会社名、団体名 ②日時 ③場所 ④参加人数 ⑤活動内容 ⑥コメント ⑦参加業者

した
 ⑦インシケ 市成建設 樺村組
 江藤建設工業 希建設 三和建設 第一建設 津由工業 中建設 Misumi 山理建設 司場建設 上山建設 内村建設 鹿大丸 勝建設 坂本建設 迫田建設 新生組 中央建設 鶴屋建設 東室建設 南生建設 歌原建設 堀之内工務店 前田組 牧建設 牧道建設 増森建設工業 丸久建設 内門工務店 海老沢建設 上増組 上四元工務店 川上建設 九州建設工業 協和建設 新栄建設 須田建設工業 竹下建設 千原建設 中山建設 福山建設 福岡純建設 丸栄建設 満福建設 渡辺組

阿久根建設 大塚建設 川井田組 成尾建設 南西華産 深野木組 森建設 盛洋建設 岩田組 一八建設 鹿野建設 木落建設 木之下工務店 小牧建設 田畑建設 富田組 林建設 久永建設 前園建設 益田建設 水口建設 森田建設 横村建設 米盛建設

ジーテック

①ジーテック（行徳敬郎社長）
 ②9月30日午前8時
 ③鹿児島市の西田本通り、城西通り
 ④24人
 ⑤歩道のごみ・落ち葉回収